



FOR IMMEDIATE RELEASE

アレイの新たな ADC シリーズは、大幅に強化されたセキュリティ機能とスケーラブルな次世代プラットフォームを提供

新たなソフトウェア・コアと高性能なアプライアンスが、セキュアアプリケーションアクセス、GSLB、DDoS 攻撃の防御など、多くの新機能/機能拡張をサポート

米カリフォルニア州ミルピタス - 2018/04/10 - ネットワークファンクションプラットフォームカンパニーである [Array Networks Inc.](#), (本社 米ミルピタス, CEO Michael Zhao 日本法人 アレイ・ネットワークス株式会社, 神奈川県川崎市, 代表取締役 岡本恭一 以下”アレイ”)は本日、アプリケーションデリバリコントローラ「APV シリーズ」および「vAPV」の最新のソフトウェアバージョンのリリースを発表します。およそ 30 種類におよぶ、新機能と機能拡張が含まれており、これらはセキュリティ、クラウド導入モデル、専有型(専用)のアプリケーションデリバリコントローラとして業界をリードする高い性能など、アレイの企業ビジョンを反映したものとなっています。このリリースにおいて特筆すべき新機能は以下の通りです。

“セキュアアプリケーションアクセス(SAA)”と”認証, 認可, アカウンティング(AAA)”

SAA 機能は、WEB ベースのアプリケーション向けのシングルサインオンと共に、アレイのセキュリティ戦略を推進し、実績のあるアレイの”認証, 認可, アカウンティング(AAA)”テクノロジーを統合します。エンタープライズ・アプリケーションのクラウド移行の増加に伴い、それがパブリック、プライベート、ハイブリッドのいずれであっても、ユーザは複数アプリケーションへのログインを毎日行うこととなり、ゆえに複数のログインパスワードを覚えておくことも必要となります。これは従業員の生産性に悪影響を与える一因と言われています。APV シリーズの新しい SAA 機能は、ユーザが一度だけの安全なログインで、認可された全てのアプリケーションへのアクセスを得られる環境を実現させます。APV シリーズは、Security Assertion Markup Language (SAML)、LDAP、RADIUS、Open Authorization (OAuth) といったプロトコルの稼働する AAA サーバと連携します。さらに、複数の AAA 方式を実装し、法令や規約などの要件への対応も可能です。

大幅なセキュリティの強化

最新のソフトウェアでは、APV シリーズの SSL intercept 機能と DDoS 防御・回避機能がともに強化されています。SSL intercept (SSLi)は、SSL 暗号化トラフィックを平文化することにより、セキュリティデバイスのフル・インスペクションをアシストする機能です。また、アレイの DDoS 防御機能は、アプリケーション、セッション、ネットワークの各レイヤの攻撃の防御に対応し、機械学習を活用したアノマリ検知としきい値の自動設定を実行します。いずれの機能も使い易さの向上とセキュリティ機能の拡張が図られています。

Global Server Load Balancing (GSLB)

パブリック、プライベート、ハイブリッドのクラウドなど、プライベート・データセンタ間に跨るデータセンタ・アーキテクチャに対し、アレイのサポートは更に拡張されました。[Global server load balancing](#) (GSLB) は、サーバのパフォーマンスを向上させるために、マルチサイト冗長化と地理情報ベースのルーティングを提供します。最新バージョンでは、GSLB の一連の機能として、SDNS サービスプール間の混合ヘルスチェックの関係性を実現する新たな方式を加え、進化した解決サービスとユーザエクスペリエンスの向上を助ける” EDNS-client-subnet”のサポートも追加されました。

次世代の専有型アプライアンスシリーズ

新しいソフトウェア・コアや、機能、拡張に加えて、最新リリースは、より進化した SSL 性能、ECC 暗号化とオプティカル 40Gbps インターフェイスをサポートする、新シリーズの専有型 APV シリーズアプライアンス「x800 シリーズ」もここに発表します。この「x800 シリーズ」では、様々な項目での性能が進化しています。レイヤ4では、1 秒あたりの接続数が 40～50%のレンジで向上しており、モデルによってはレイヤ7での 1 秒あたりリクエスト処理数も同様に向上しています。新ソフトウェアバージョンで、ネットワーク管理者は、ロードバランシングに最高水準の SSL 性能を、市場でも稀な高いコストパフォーマンスにて得ることができます。

アレイの専有型ロードバランサのアプライアンスを利用して来たユーザ向けに、現行ラインナップである「APV x600 シリーズ」とそのサポートするソフトウェアも引き続き製造・販売を継続します。

「仮想や専有型のアプライアンスから、クラウドやハイパーコンバージド環境や当社のネットワークファンクションプラットフォームまで、アレイのアプリケーションデリバリソリューションは、いかなる状況においても、ビジネスアプリケーションに性能や冗長性を確保する多様な導入モデルをサポートします」と、Paul Andersen (Vice President of Sales and Marketing at Array Networks) は言います。「最新の APV ソフトウェアとプラットフォームは、パフォーマンス以上に柔軟性、機能の豊富さ、これまでにない敏捷性と万能性を、更に引き出します。」

アレイ・ネットワークスについて

アレイ・ネットワークス (Array Networks, the network functions platform company) は、仮想ネットワーク、セキュリティ、アプリケーションデリバリへ移行するユーザの、性能および関連する課題を解決します。米シリコンバレーに本社を置くアレイは、ネットワーク仮想化(NFV)、クラウドコンピューティング、ソフトウェア中心のネットワークなど、成長する市場のニーズにお応えします。全世界に 5000 社の導入実績を誇り、アレイは業界をリードするアナリスト、企業、サービス事業者、パートナーによって、その”Agility-at-Scale”を実現する次世代の技術は高く評価されています。詳しくは、こちらまで：www.arraynetworks.com

報道関係のお問合せ：

アレイ・ネットワークス株式会社
プロダクトマーケティング：原田
TEL : 044-589-8315
E-mail: Marketing-j@arraynetworks.net